

2019年度 事業報告(案)

■事業期間 2019年4月1日～2020年3月31日

1.環境保全活動のネットワーク構築に関する事業

(1) 連携の推進

概要・目的	内容・結果、その他
ネットワークを活用した活動の企画・実施 ～ネットワーク組織として、環境保全活動の推進、実施	北海道の自然保全活動データベース「きたマップ」の運用と活用 ・データ整理、コンテンツ更新、マニュアル見直し ・マップやライブラリを活用した連携事業の提案・相談・企画 ・自然保護助成基金「プロナトゥーラファンド特定テーマ助成 きたマップ活用助成」の採択団体への対応 きたマップ公開記念シンポジウム「北海道の自然環境を守ろう」開催 内容：基調講演、事例発表、きたマップ紹介 日時：4/13(土)、会場：北海道大学学術交流会館 共催：自然保護助成基金、北海道自然保護協会 参加者数165名
環境中間支援会議・北海道 ～中間支援4団体の相互協力により、効率的な中間支援の環境活動を実施	「環境☆ナビ北海道」HPの運用／環境活動の情報掲載 イーナビ会議の開催(6/18、9/27きたネット担当、12/25、3/19予定) 協働による活動の実施・新規事業の開発 札幌市温暖化対策推進計画改定に係るWS(共催事業 主催：札幌市環境局) 日時：8/6(火)、会場：札幌市役所 1号会議室 参加者：24名(きたネットは不参加) 連続勉強会「環境学習施設の可能性を考える」 日時：1/23(木)、会場：札幌エルプラザ 会議室1.2 内容：講演「実践に使える質的調査と量的調査」(岡本素子氏) 参加者：44名 情報共有と住民参加による環境政策づくり対話～SDGzめがねで考える！札幌市の政策～(延期)
外部組織との協働 ～産官学民が実施する事業やイベント、各種委員会等への参加、協力	北海道森林管理局、北海道、市町村及び関連団体が実施する委員会や会議等への出席 北海道森林管理局、北海道環境道民会議企画委員会、北海道環境教育等推進懇談会 森林山村多面的機能発揮対策協議会委員、北海道海岸漂着物対策推進協議会、札幌市民動物園会議 市民団体や企業等が実施する環境系の事業等への出席 市民活動スタッフ養成講座(北海道市民活動センター)、スポごみ大会(スポごみ実行委員会)、 「動物園水族館でつなぐ命-自然と共生する世界を目指して-」(日本動物園水族館協会)、 コープ森づくり基金 森づくり研修会、森づくり交流会(コープ森づくり基金)、他 受託事業 「コープ未来の森づくり基金」協力事業(コープさっぽろ未来の森づくり基金) ・企画会議出席：あすもり事業の企画・運営などの提案(5/22、9/3、12/5、2/27) ・冊子「モリイク」掲載記事の企画・制作(「森のキモイキレイ」ページ) 17号「冬虫夏草」、18号「粘菌のフシギな世界part1」 ・円山動物園環境教育プログラム「どんぐりプロジェクト」：企画・準備・実施協力(札幌円山動物園) 5/11(土)参加者 22名、7/29(月)参加者16名、 9/29(日)参加者20名、1/11(土)参加者10名 ・植樹祭運営協力：準備・実施協力(6/9・道民の森)、地持えの協力 ・その他あすもり事業の全般運営の協力、相談対応 受託事業 「森林山村多面的機能発揮対策交付金」業務(北海道森林山村多面的機能発揮対策地域協議会) ・「交付金制度説明会・活動事例報告会」開催 企画、情報提供・広報、実施準備、報告書作成(200部印刷) 日時：2/20(木)、会場：かでの2.7 820研修室 参加者：120名 ・パンフレット作成(500部印刷) 受託事業 ラジオ番組「円山ZOOラジオ」制作放送業務(さっぽろ円山動物園サポートクラブ) 概要：円山動物園の環境活動や魅力を身近に感じるよう市民目線で広く伝えるためのラジオ放送 (「MORINOKOチーム」を結成し実施) ・番組の企画・制作・出演・編集、広報ツール・BGM制作 ・番組放送(3回・ラジオカロス)：10/30(水)、1/15(水)、3/11(水)
	全道中間支援組織による災害支援ネットワークの整備事業及び被災地支援活動協力 ・各中間支援組織との連携、研修会・被災地支援フォーラム参加 ・被災地支援活動 「上厚真小学校からはじめる ふるさと復興の森づくり」事業(胆振基金・助成事業) 厚真の森づくり活動を行いながら、ふるさとの自然環境と防災について学ぶ 7/18(木) 森づくり授業(岡村俊邦氏)、タネ精選、播種、植樹 11/1(金) 苗の確認、タネ採りと精選、播種 ・北の災害サポートチーム準備会に参加

	<p>「市民環境活動団体の会員の活動動機に関する意識調査」の調査協力 (北海道大学大学院農学研究院) 概要: 北海道の環境活動団体に参加する市民の意識調査。活動の経験・内容等の比較分析を行う ・調査内容の確認、データベースの提供、調査書の発送、メール発信</p>
	<p>全国の中間支援組織と連携(NPO法人エコネット近畿、NPO法人地域の未来・志援センター) ・協働による活動や新規事業の開発と提案 ・「環境助成サポートチーム」の結成(事業内容は環境保全活動を支援する事業—その他に記載)</p>
	<p>その他協力等 ・酪農学園大学インターン受け入れ ・「海ごみゼロウィーク」への参加(北海道530(ゴミゼロ)プロジェクト大作戦! 実行委員会) ・「テオのビーストを呼ぼう石狩浜の風の中へ実行委員会」への開催・運営協力</p>

(2) ネットワークの拡大

概要・目的	内容・結果、その他
環境活動の視察やイベント参加、情報提供等により新規会員を獲得する	<p>会員数(3月末時点) ・正会員 59団体・16人 / 入会: 4団体、個人1名、退会: 2団体 ・賛助会員 54人・14企業 / 入会: 個人5名、企業1、退会: 個人6名、2企業</p>

2. 環境保全活動を支援する事業

(1) 会員活動の支援

概要・目的	内容・結果、その他
サービスの充実 ～会員や関係団体のニーズに応じたサービスの提供	<p>活動協力 ・「コープあすもり森づくりワークショップ」(雪印種苗) / 実施サポート、指導(計4回)、報告書作成 ・「ヒグマックス」全4回(ヒグマの会) / 実行委員会参加、企画、広報ツール・チラシ作成、広報協力、実施協力、運営サポート 後援 ・しめっちフォーラム「しっち知っちまった」(石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク) ・シンポジウム「炭鉱の町釧路から地球温暖化を考える」(NPO法人気候ネットワーク) その他 ・生物多様性保全とSDGsミーティングのアドバイザー(地域環境計画) ・各種相談対応 ・広報やイベント案内/チラシ配布・Web掲載(エコビレッジ推進プロジェクト、前田一步園財団、他) ・機材貸出、会議スペース提供等</p>
活動訪問・取材	<p>訪問: 秋山財団賞・助成金贈呈式、自然観察会参加(自然ウォッチングセンター、林業技士会)、イベント参加(ヒグマの会)、ごみ拾い活動(セブン-イレブン) 取材(きたネットNEWS掲載): 旭山記念公園市民活動会議、大沼流山森づくりネットワーク、いしかり森林ボランティア「クマゲラ」、NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ</p>

(2) フォーラム等の開催

概要・目的	内容・結果、その他
<p>a. きたネットフォーラム 北海道の自然環境保全活動に取り組む市民への情報発信と交流・ディスカッションの場として開催 会員、産官学民との連携により、北海道の環境活動の指針となる情報の発信と、パートナーシップの構築をめざす</p>	<p>きたネットフォーラム2019(北海道環境活動交流フォーラム) 「人と野生生物の距離」～危険生物・感染症など、リスクをもつ野生生物とどうつきあうか～ 日時: 12/1(日)、会場: 札幌エルプラザ 内容 ・基調講演1.「この世に危険生物などいない・フィールドのリスクマネジメントを考えるために」(小川巖氏) ・基調講演2.「変わりゆく人とクマとの距離・安全な共存をどうつくる」(間野勉氏) ・環境活動における要注意生物とどうつきあう、その時、どう行動する? 講演「人と動物の関わりから生まれる新たな感染症リスクとその対応 ・飼育動物と野生動物の区別を考える」(福井大祐氏) 事例「キタキツネは危険生物か? エキノコックス対策の最前線」(池田貴子氏) 事例「野鳥との距離を考える・ずっと餌付けしていたのに、鳥フルが流行ったら追い払うの?」(長谷川理氏) 事例「身近な生物に潜む危険! 生物がヒトに与える疫学的脅威の認識をお持ちですか?」(斉藤聡氏) ・パネルディスカッション「要注意生物との共存を考える」 ・伝え、広げるために・全体交流会 / 話題提起「気候変動と持続可能な地域づくり」(坂本純科氏) 主催(連名): セブン-イレブン記念財団、 協力: 中間支援会議・北海道、セブン-イレブン記念財団(助成) 後援: 札幌市 参加数: のべ132名(うち関係者18名)、録画2月公開</p>

<p>b. 助成セミナー 環境活動を行う市民団体を主な対象に、助成金に関する情報を提供する</p>	<p>きたネット市民活動助成金セミナー2019 「NPOの資金調達まるわかりセミナー」 日時：10/19(土)、会場：北海道建設会館 内容 1-A 資金調達の新しい流れに関する情報提供 ・共感が志金に変わるファン度レイジング(日本ファンドレイジング協会 牧伸介氏) ・ファンドレイジング成功と失敗の実践例(認定NPO法人DXP 今井紀明氏) ・クラウドファンディングをやってみよう(FAAVO北海道 泉川浩氏) 1-B 初めての助成金申請書の書き方講座(セブン-イレブン記念財団 小野弘人氏) 2 助成金制度説明/ 事例発表～助成財団×採択団体、助成制度紹介(9団体10制度)、個別相談会 主催(連名): セブン-イレブン記念財団、協力: セブン-イレブン記念財団(助成) 連携(全国中間支援団体): エコネット近畿、地域の未来・志援センター ※全国の中間支援組織3団体が連携し、統一テーマで協働開催した。 エコネット近畿の昨年度の実施体制を基に企画調整し、全国ネットで準備を進めた。 参加数: のべ61名(うち関係者18名)</p>
<p>c. 講演会等の開催 北海道の環境について学びあう講演会やセミナー、活動交換会、勉強会等を開催し、多様な環境活動の推進を支援する</p>	<p>きたネットセミナー(総会と同日開催) 日程: 6/22(土)、会場: かでる2.7 1040会議室 内容 「市民活動の「やる気スイッチ」はどこにあるの?」 ・講演「環境保全の担い手育成のポイントは? 世界の実例、市民への意識調査から学ぶ」(愛甲哲也氏) ・対談 時代に共感をつなぐ活動とは(愛甲氏×草野氏) 参加数: 36名(うち関係者13名)</p>
	<p>きたネットカフェ 実施せず</p>

(3) 情報提供・啓発

概要	内容・結果、その他
<p>多様な北海道の環境活動や情報を提供し、環境啓発を図る</p>	<p>環境活動に関する様々な情報の提供 ・きたネットWeb、blog、twitter、facebook、「環境☆ナビ北海道」HPへの掲載 ・広報紙等の配布 各種きたネットWebサイトにて情報掲載 ・きたネットblog、環境ナビ北海道掲載 ・ツイッター、FacebookなどSNSへの投稿/約100件</p>
	<p>きたネットラジオカフェ放送 ・偶数月第2水曜日(計5回放送) 5/8 手稲さと川探検隊、7/10 UWクリーンレイク洞爺湖、9/11 北海道エコビレッジ推進プロジェクト、11/13 エコネットワーク(きたネットフォーラム)、2/26 手稲さと川探検隊</p>

(4) その他

概要・目的	内容・結果、その他
<p>一般への環境活動の支援として、サービスの提供を行う</p>	<p>「環境助成サポートチーム」(きたネット、エコネット近畿、地域の未来・志援センター) 新型コロナウイルス感染症の影響による、助成金を活用した市民活動の中止・延期に対する団体への支援 ・助成している団体に対し、活動団体への対応について要望書を提出、対応策の一覧を作成 ・特設サイトを開設/助成団体の対応公開、活動団体に役立つ情報を提供 ・第1回Web助成サミットの開催(助成セミナー参加の9助成団体)</p>
	<p>・札幌市施設リニューアルに伴う、施設運営の相談対応 ・企業・団体・行政、一般・学生などの相談対/多数 ・新規事業の提案、他</p>

3.環境保全活動に関する事業

(1) ラブアース・クリーンアップin北海道

概要・目的	内容・結果、その他
<p>身近な活動を地球環境保全の意識啓発につなげるため、北海道各地のごみ拾い活動の情報を集約・発信する。イベント実施や産官学民とのパートナーシップ構築により環境啓発を図る</p>	<p>「ラブアース・クリーンアップin北海道2019」北海道各地のごみ拾い活動を紹介 内容 ・HP運用、facebookを活用した活動紹介、情報提供 ・ごみ拾いイベント開催 「オープニング!ごみ拾い」参加者: 10名(うち関係者4名) 日時: 3/30(土)、場所: 大通公園～中島公園、協力: 北海学園大学P-コネクション 「ごみ拾いビーチウォーク」参加者: 613名(うち関係者55名) 日時: 6/2(日)、場所: 石狩市石狩浜 共催: NPO法人北海道海浜美化をすすめる会、NPO法人ezorock 協力: 石狩市、北海学園大学P-コネクション、北海紙管(株)、海ごみゼロウィーク、その他 協力: OBLA、(株)スノーボール、全管協、さっぽろ青少年女性活動協会 スポGOMI実行委員会、北“海”道530(ゴミゼロ)プロジェクト大作戦!実行委員会、セブン-イレブン記念財団(助成)、石狩川振興財団(助成)、その他 参加数: 約1992団体・31,073名 協賛: 27件</p>

(2) ラブアースの森づくり

概要・目的	内容・結果、その他
自然環境保全のための育樹活動	「ラブアースの森づくりin白老」 日時: 10/5(土)、場所: 白老町石山 トラストの森、ラブアースの森 内容 ・森づくり: カラマツの除間伐・枝打ち、シカ被害対策ネット取り付け作業 ・自然観察会: ウヨロ川フットパスウォーキング 共催: NPO法人ウヨロ環境トラスト 協力: 森と緑の会(助成) 参加数: 37名(うち関係者15名)

4. その他事業

概要・目的	事業内容・結果、その他
その他の事業	その他

■ 管理部門

概要	
会議	通常総会 日時: 6/22(土)、会場: かでる2.7 1040会議室、出席数: 54(13団体・8個人、事前表決21、委任状12) 理事会 臨時理事会 5/25(土)、通常理事会 2/15(土)、運営会議 11/25(月)、12/16(月)
広報等	広報計画 きたネットの活動やネットワーク、事業等の紹介 ・会報: 総会議事録(250部程度) ・パンフレット: 準備中 ・広報誌「きたネットNEWS」(機関紙・年2回程度発行) 事業報告や会員活動の紹介等を掲載 8号(1000部)、臨時号(会員向け200部)、9号(1000部) インターネット・SNS ・きたネットHPの運用(きたネット事業の紹介や報告、会員情報を掲載) 環境保全活動を支援する事業・・・情報提供・啓発を参照
基盤強化	第四期中期5カ年計画の推進(最終年) ・アカデミック・サポートチームの結成、運営: チーム結成に至らず、方針の再検討 ・今期計画の推進・振り返りと次期計画の策定
その他	ホームページのリニューアル: 準備進行中

■ きたネット会員 入会(2019年4月～2020年3月)

正会員: (団体) 公益財団法人知床財団、NPO法人景観ネットワーク、ヒグマの会、北海道消費生活コンサルタントクラブ
(個人) 1名
賛助会員: (個人) 5名 (企業) 株式会社トゥリー

■ 寄付・協賛 企業・団体(順不同・敬称略)

公益財団法人日本賃貸住宅管理協会 北海道ブロック、公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会 北海道支部、全国賃貸管理ビジネス協会 北海道支部、DCMホームマック株式会社、株式会社北翔、一般社団法人札幌空調衛生工事業協会、川正染工株式会社、北日本測地株式会社、親切会北海道支部、株式会社リロケーションサービス、石上車輛株式会社、伊丹車輛株式会社 北広島支店、山本建設株式会社、株式会社ファズ、株式会社セクト、札幌工業株式会社、丸利 伊丹車輛株式会社、株式会社 櫻井千田、北海道中央バス株式会社、株式会社オール、株式会社宅建、株式会社駿河、株式会社カンリ、株式会社宮北都市開発、株式会社GV 北海道支部、フォレストクリエイティブ/TACK